

2020年10月25日（日）

<アートサイエンス>

薬草園からほど近い新しい棟の中には、世界の薬草ミュージアムのような展示室や彫刻や絵画が溢れた空間が広がっていました。窓からは薬草園が見渡せて、コンセプト通り、アートとサイエンスと薬草が共存しており、整えられた環境の中で日々薬学の研究が進められているのだと感じました。甲斐学部長からフェルメールの絵画作品の奥深い考察をお聞きすることができ、とても有意義な時間となりました。



壁面でも観覧可能



真珠の耳飾りの少女
ヨハネス・フェルメール
1665年頃
オランダ、デルフト

<懇親会>

熊本大学を後にして、ホテルキャッスルの桃花源にて円卓を囲み食事を取りました。コロナウイルスの影響で、中国での研修は叶いませんでしたが、今までの研修での経験や生薬について、山下先生や諸先輩方から貴重な話をお聞きすることができました。美味しい中華料理と紹興酒を囲み、和やかな雰囲気です親交を深めることができました。

